富山県SDGs宣言

株式会社読売新聞東京本社北陸支社はＳＤＧｓの達成のため、
以下について取り組むことを宣言します。

読売新聞は1874年（明治7年）に創刊し、1960年に富山県に北陸支社を開設しました。これまでも、環境に配慮した新聞制作に取り組んできましたが、2020年6月には、SDGsを達成するため、世界の主要な報道機関が国連と連携して取り組む「SDGメディア・コンパクト」に参加し、太陽光発電や電気（EV）トラックの導入も進めています。富山県でも、主に報道を通じて、地域課題の解決に取り組んでいきます。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	【目標】 SDGsに関する富山県内の行政・企業・団体の最新の情報を読者に提供し、質の高いSDGs教育を提供する 【主な取組み】 ・読売新聞は2020年6月、国連と連携して報道に取り組む「SDGメディア・コンパクト」に参加しました。富山版では、2020年以降、SDGsに関する記事を112本掲載しています。今後も量・質ともに充実させ、正しくスピーディーな情報提供に努めます。 ・SDGsに関連する事業を主催・後援することで、SDGsに関して学ぶ場を提供していきます。	
2	【目標】 弊社が所有・入居する北陸読売会館の省エネ化を進め、脱炭素社会の実現を目指す 【主な取組み】 ・北陸読売会館（高岡市下関町、地下2階・地上9階）の照明器具について、約30%の電力削減効果があるLEDへの交換工事を2021年度から順次進めております。 ・主要部の照明時間の短縮や、夜間のエレベーター運転台数の削減も進めています。	
3	【目標】 社員の仕事と家庭の両立を重視し、長く働きやすい職場環境作りを進める 【主な取組み】 ・次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立を図るために本社が策定した行動計画は2008年に厚生労働省の認定を受け、「子育てサポート企業」として「くるみん」マークを2008年に取得しました。北陸支社でも、働き方改革をいっそう進め、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境作りを進めます。	

2023年 9月 27日
企業・団体名 株式会社読売新聞東京本社北陸支社
代表者名 北陸支社長　渡辺英俊